

ヤマトグループ 地域共創プロジェクト くらしのサポートサービス 「ネコサポ」



2020年 1月 29日
ヤマトホールディングス株式会社



— くらしのネコの手サポート —

 **ネコサポ**

provided by  ヤマトグループ

0. 創立100周年を迎えて

ヤマトグループ2020年 正月広告

マークは変わりません。
でも、クロネコヤマトは変わります。

多くの企業が苦戦を余りながら
ヤマトグループは昨年11月、創業100周年を迎えることができました。
2009年と、2019年とで時代は大きく変わりました。

私たちがこれまで、時代の変化に対応し、ネットワークを拡大、
お客様のニーズに応えるサービスをつくってまいりました。
お客様が求めるサービスを提供し、
お客様の課題を解決し、価値も創り出してきました。
ヤマトグループの歴史は、チャレンジの歴史。

これからも、時代の変化から生まれるニーズに対応していきます。

多くの企業が苦戦を余りながら
持続可能な社会の実現に向けて
私たちが変わらなければなりません。

ヤマトグループには、全国をカバーするネットワーク、様々な拠点、
そして膨大なデータの蓄積があります。
何より、多様なお客さまとの「接点」があります。
これらの機能とノウハウを、
特定のサービスの型にはめるだけの時代は終わりました。
ヤマトグループの資産をどのように活かし、分解し、組み合わせれば、
より良いサービスや商品を提供できるのか。
社会の役に立てるのか。

私たちが目指しています。
お客様も、価値も、社会も、そして地球も豊かに暮らすための
ネットワークを力尽きずり目指してまいります。

どうぞ、これからもヤマトグループにご期待ください。
新しいチャレンジへ
今年、101年目を、共に迎えます。

ヤマトグループ

(抜粋)

これから先も、時代の変化から生まれるニーズに応えることができるか。
たくさんの社会的な課題を解決することができるか。
持続可能な社会の実現に向けて、
私たちは変わらなければなりません。
ヤマトグループには、全国をカバーするネットワーク、様々な拠点、
そして膨大なデータの蓄積があります。
何より、多様なお客さまとの「接点」があります。
これらの機能とノウハウを、
特定のサービスの型にはめるだけの時代は終わりました。
ヤマトグループの資産をどのように活かし、分解し、組み合わせれば、
より良いサービスや商品を提供できるのか。
社会の役に立てるのか。

ヤマトグループは従来のデリバリー企業ではなく、
「より便利で快適な生活関連サービスの創造する」
企業へと変わります。

変革を代表する取り組みのご紹介

1. 地域共創プロジェクトで実現を目指していること

- (1) デリバリーに加えて、「イエナカ（便利屋）」と「コミュニティ（場の提供）」の基盤サービスを提供し、
- (2) その基盤を活かして個々の生活者へ、最適な情報・サービスを「繋ぐ」付加価値を創出することで、
- (3) 結果的に、少子高齢化に端を発する様々な社会課題解決にも資する。

ヤマトが地域で価値を共創する「事業」

(1) 基盤サービスとして提供

※基盤サービスのリソースは、地域のリソースとの連携を前提とし、不足部分を自社で構築

デリバリー
(宅急便)

+

イエナカ
サービス

+

コミュニティ・
生活相談の「場」

60,000人のSD、4,000店の拠店、
1日500万個の荷物お届けの接点

家事・買物など生活支援

コンシェルジュ店頭相談やイベント開催

+

(2) プラットフォーム

地域・自治体・パートナー事業者との連携
(生活者の個々に、有益・便利な情報・サービスを、お届け・お繋ぎする)

(3) 社会課題解決

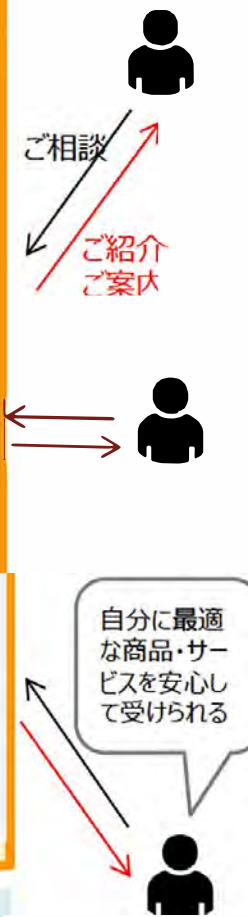
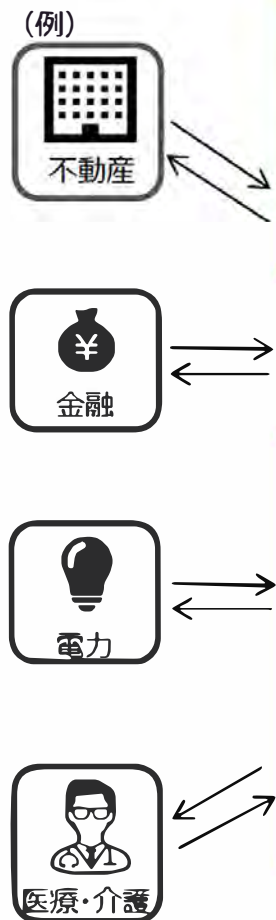
この事業をソフトパッケージとして地域特性に応じて展開することで、
社会保障分野や団地再生・まちづくりにも貢献する。

2. 暮らしのサポートサービス「ネコサポ」取り組み全体図

【パートナー様】

【ヤマト（ネコサポ）】（地域リソースが存在する場合は、連携しながら）

【生活者様】



- 機能
- ①地域住民の活躍（高齢者雇用など）
 - ②お元気確認・見守り（自治体等との連携）
 - ③地域包括ケアマネジメントへのお役立ち

